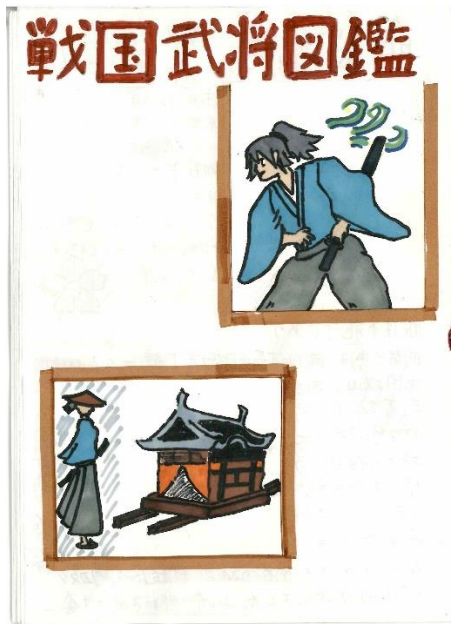


# 「戦国武将図鑑」

城南中学校 2年 川原 亜莉沙



**明智光秀** 基本情報


出身 美濃国  
 生誕 1528年  
 死亡 1582年 7月2日  
 年齢 満54歳没  
 姓 茂太郎  
 稱世の句 「心いかに人は何とも言はばい  
 身をも惜まば 名をも惜しまし」  
 家紋 桔梗



敵は本能寺にあり  
 明智光秀は 織田信長が目指す天下統一のために、中国攻めに向かっていた。光秀は途中である分岐点に到着する。右に行たら本能寺、左に行たら中国地方という分岐点で光秀は本能寺を選んだ。信長は中国攻めの援軍に向かうついでに本能寺に宿泊し僧侶とお茶会を兼ねていた。明け方である午前5時頃1万の兵で本能寺を襲撃する。森蘭丸は討ち死、信長は自害に追い込まれたが、遺体を見つかることはできず、京師の混乱も終結に手廻り、信長は中国大返しをした。山崎の戦いで死する。

**筒井順慶** 基本情報

出身 大和国  
 生誕 1549年 3月31日  
 死亡 1584年 9月15日  
 年齢 満35歳没  
 姓 藤原  
 稱世の句 「柳は枯れし筒井の  
 清けは心いかに 菊の葉も枯れし」  
 家紋 桔梗



ういかに松永久秀との抗争  
 織田信長・原田とては家督を継いでいる。地元大和国には全盛期の松永久秀のい。筒井家は四面楚歌状態に陥っていた。久秀と筒井勢は折れ合い悪く3体して久秀には三好長慶という大敵が居た。  
 角田山城を筒井城の奪い合いの中、順慶は三好三象を味方につけた。久秀は織田信長を味方につけたりなど一進一退の攻防戦を続ける。將軍足利義昭が大和への復帰を後押しして久秀は信長・義昭の信長が援軍を頼り何かにいい人生を送るようになった。

この作品をつくった理由は歴史人物が好きだからです。ぜひ調べてみたいと思ったのでつくってみました。この作品のみどころは肖像画をていねいに46人分描いているところです。人物の説明もできるだけわかりやすく書きました。作っていて楽しかったです。